

# 高知県立林業大学校 卒業生同窓会会報

発行  
高知県立林業大学校同窓会事務局  
住所：香美市土佐山田町大平80  
電話：(0887)52-0784

R4年度在校生



今年は何年にもない大雪のことでしたが、お変わりございませんか？我が家では403の積雪を記録し、娘もはじめての一面の銀世界に大はしゃぎしていました。さて、周辺の材価はウッドショックでの高昇を過ぎ徐々に新型コロナウイルス前の水準に下がってきているようですが、材価変動に依らず手入れの行き届いていない山は以前として多く、皆様におかれましてはより一層森林整備業務等に勤しんでいることと存じます。



感染症等の影響で仕事・私生活での制限が多く、様々な情報に左右される世の中、何事も見聞き体感し、何が最善かを1人1人が考え行動することこそ大事になってくるのかもしれない。末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ごあいさつ

同窓会会長  
**川崎倫央**  
(専攻課程平成30年度卒)

## 林業大学校の現況

金子尚公

本校卒業生の皆様には、それぞれの分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本校の近況についてお知らせします。今年度の研修生は、基礎課程18名、専攻課程21名（森林管理9名、林業技術7名、木造設計5名）総勢39名となりました。今年度は「新型コロナウイルスを意識し、感染対策に十分配慮しながら昨年度よりも対面での授業や実習を行っております。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でも各森林組合・林業事業体・企業の皆様のご協力により研修生のインターンシップも実施することができました。



ところで、同窓生の皆様は、本校の短期課程での講座をご存じでしょうか。こちらでは、リカレント（学び直し）コースや森林・林業・木造建築に関するさまざまな研修を受講することもできます。中には、専攻課程の在校生と一緒に受講する講座もありますので、交流の場としても是非ご活用いただければと思います。

卒業生の皆さまにお会いする機会がありませんが、健康を第一にそれぞれの職場や地域で日々直向きに取り組まれ大きく飛躍されることをお祈り申し上げます。



## 林業大学校への思い

山下博



皆さまお元気ですか。林業大学校を離れ3年目を迎えています。現在、私は幡多林業事務所勤務しています。

林業大学校の頃を振り返りますと、県内の学校をはじめ、就業ガイダンス、移住相談会などを訪問し、在校生の確保に駆け回った日々を思い出します。

先日、竹村佳晃君（専攻課程令和2年度卒）と会いました。彼との出会いはこうちフォレストスクール。「本格的に林業を学びたいなら林業大学校においでよ！」彼に積極的なアプローチをしたことを憶えています。入校した彼は静かな中に高い志と強い信念を持って基礎課程から専攻課程へと林業を深く学び、中村市森林組合に就職しました。久しぶりに見る逞しい立ち姿はまるで俳優阿部寛の様。地域に溶け込み良質な人間関係を築いている彼の近況を聞き安心した私でした。

## 卒業生の近況報告

※基礎課程と専攻課程の両方を履修している場合は専攻課程の卒業年度を記載しています。

### 近況報告

川崎 皓太

（基礎課程令和2年度卒）

初めまして。第六期基礎課程で卒業した川崎皓太です。

現在は大豊町森林組合の林産班で働いています。最初の一年は覚えることに必死で、また暑さや寒さ、天候や虫など大変なことが多かったです。一年経ちある程度動けるようになりました。仕事以外では、高知フォレストスクール（東京）への参加や新聞に掲載させていただき、また林業先進地等地視察研修（大分・宮崎）に参加させていただきました。自分の事業体で言われたことをやるだけではなく、他の林業事業体と関わる事で考え方が変わりました。これからは、他の林業事業体との関わりを深め、新しい情報を収集するとともに、林産以外の仕事（造林・土場・現場事務）にも携わりたいと思います。そうすることで見えないことも見えてくるようになり、お互い得をするような働き方を作っていきたいです。





# 近況報告

## 竹村 佳晃

(林業技術コース令和2年度卒)

中村市森林組合に就職した竹村です。四万十市での生活も2年目となりました。林業大学校へ入学する前は林業という仕事に全く触れてこず、ゼロからのスタートとなり期待と不安でいっぱいでした。就職してから1年目は主に造林作業を行い、2年目からは搬出間伐の現場で作業をしています。

学校で身に付けた技術、知識を活かし頑張っていますが、まだまだ現場で学んでいくことも多いです。安全を確保した上での効率的な作業、自然を相手にした計算、予測、感覚、判断力、周りとの連携など。お金を稼ぐという現場での厳しさに苦戦する毎日です。

しかし、そんな厳しい林業という現場で先輩作業員みんなが最も大切にしていることは「仕事は楽しく」です。今年からは狩猟も始め日々、自分自身の成長を実感し、やりがいを感じています。

危険な仕事であるため緊張感も大切ですが、あまり張り詰め過ぎないように適度な緩みを持って卒業生の皆さんも安全第一で頑張ってください。



『徒然なるままに、日暮らし、硯に向かひて、云々』

## 安藤 拓哉

(木造設計コース令和3年度卒)

学生時分に習った一文の意味合いを、身をもって体感しています。家でも職場でもデスクに向かい、趣味で絵を描き、仕事で図を描く。学生の頃と大して変わらず、むしろよりシンプルな生活になりました。

そうこうして気が付くと、一日が過ぎていきます。気付けば一生が過ぎてしまいうような勢いなので、この先どうしようかと作業中心と考えたりもしますが、それは目の前にある仕事をキチンとこなせるようになればこそその由無し事で、後の事は後で考えればいかと徒然なるままに思う訳です。



# 令和4年度同窓会 役員会の報告

令和4年度同窓会役員会を、12月10日に集まり実施しました。

前回同様新型コロナウイルスの影響により遅い開催となりましたが、基礎課程の現役生も参加し様々な意見が交わされました。内容は主に、役員会の紹介、春の役員会の開催に向けて、今後の役員会の集まりかた(野外でのレクリエーション等)を協議しました。

また、2年後の林業学校創立10周年に向けてのイベントを計画して頂く予定です。卒業生の皆様には、今後とも本同窓会へのご協力の程宜しくお願い致します。

同会役員の紹介

会長 川崎倫央 (三期)

副会長 芦田広記 (一期)

副会長 川村耕大 (三期)

西森貴弘 (二期)

大岸卓也 (二期)

大瀬良勇一 (二期)

飯干貴広 (二期)

森澤勉 (二期)

埴賢治 (二期)

佐山速基 (二期)

黒瀬宗樹 (二期)

竹村佳晃 (二期)

今西悠人 (二期)

谷脇拓海 (二期)

## 編集後記

梅のつばみも膨らみ始め、春の兆しを感じる頃となりました。卒業生の皆様におかれましては益々健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、まずは急なお願いにもかかわらず原稿を寄せてくださった皆様に心よりお礼申し上げます。

本会報が卒業生同士の交流のきっかけになれば幸いです。

林業大学校ではホームページやSNSにて在校生の活動について報告を載せていますので、そちらについても是非ともご覧ください。

まだ厳しい寒さが続きますが、お体に気をつけてお過ごしください。

林業大学校教務課

諏訪 貴俊